

# 会 派 代 表 質 問

## 太宰府市民ネット

とくなが ようすけ  
徳永 洋介 議員

- ・第1のプラン「市民参画の行政、街づくりで地域創生」について
- ・第2のプラン「学問の神様にふさわしい教育、子育て」について
- ・第3のプラン「徹底した行革と超成長戦略で財政再建」について
- ・総合計画「人権政策」について

**問** 地域住民が参加しやすい地域コミュニティの在り方とは

**Q** 各校区自治協議会で地域住民が参加できるコミュニティ事業の具体的説明と、市長の考える地域コミュニティの課題について伺う。

協議会とが地域の皆様と意見を交わしながら、支えあいの地域づくりを新たな取り組みとして進めていきます。地域のさまざまな課題解決に取り組む体制の整備に協力する他、校区自治協議会の活動を広報紙やホームページなどで広く知らせるとともに、関係部署が地域との連携をこれまで以上に充実することで、地域住民がコミュニティ活動に積極的に参加できるように支援を行っていききたいと考えています。

**A** 市長 校区自治協議会では各専門委員会を設置し、さまざまな行事の他、子どもや高齢者の見守り、災害復興支援等安全・安心で住みよいまちづくりに取り組み、地域コミュニティの活性化に寄与されています。また、校区自治協議会ごとに、福祉及びコミュニティ担当部署と社会福祉

## 太宰府新政会

は せ が わ こうせい  
長谷川 公成 議員

- ・第1のプラン「市民参画の行政、街づくりで地域創生」について
- ・第2のプラン「学問の神様にふさわしい教育、子育て」について
- ・第3のプラン「徹底した行革と超成長戦略で財政再建」について
- ・第4のプラン「積極的広域連携による太宰府構想」について
- ・第6のプラン「民間の知恵を生かした高齢者福祉」について

**問** 災害時に備えコンビニとの連携を深めるべきでは

**Q** 「周辺自治体と連携した防災計画と協力的体制づくり」と施政方針にはありますが、広域連携よりも身近なコンビニとの連携が最善であると考えています。

**A** 市長 ①必要な災害対応業務をすべて市職員でこなすのは困難ですから、コンビニ等民間会社との連携は必要不可欠です。ただし提携協定は県単位で結ぶということです。県と市で密な連携をすすめることにより、実質的にコンビニとの提携効果が市民に及ぶようになりたい。物資確保にとどまらず、燃料供給などの面で事実上の広域連携のメリットも得られると考えています。

②愛知県尾張旭市では市内のコンビニ全店にAEDがおかれています。その前に全公民館にAEDを設置しています。公民館・コンビニ等にAEDを設置する考えがあるかを伺う。

②公民館へのAED設置は有効と考えられています。ただし日常的な管理・啓発など各自治会の対応となりますから、有利な補助金の情報を提供するなどしつつ、各自治会の実情に即した対応をしていきます。

問

公明党太宰府市議団

さかい づよし  
堺 剛 議員

- ・第1のプラン「市民参画の行政、街づくりで地域創生」について
- ・第2のプラン「学問の神様にふさわしい教育、子育て」について
- ・第3のプラン「徹底した行革と超成長戦略で財政再建」について
- ・第4のプラン「積極的広域連携による大太宰府構想」について
- ・第5のプラン「環境重視の逆転の発想で渋滞解消」について
- ・第6のプラン「民間の知恵を生かした高齢者福祉」について
- ・第7のプラン「防衛省自衛隊と連携した市民の安全安心」について
- ・総合計画「環境政策」について

問

本市独自の表彰制度確立を

Q

施政方針第7のプランにあるボランティア団体との連携、防犯対策の整備充実、暴力追放運動の推進、交通安全体制の推進の観点から、本市独自の表彰制度を確立し、日々活動していただいている方々を賛嘆し感謝の意を伝える仕組みがあっても良いのではと考えるが見解を伺う。

故件数は、減少傾向にあると考えております。

このような取り組みに対し慰労と功績を称えるため、県や市、各協議会に表彰制度が設けられており、防犯・交通安全については筑紫地区安全安心まちづくり推進協議会、筑紫野太宰府防犯協会、交通事故をなくす福岡県民運動本部をはじめ、多くの団体により表彰が行われています。

このような状況から、当面は太宰府市表彰条例で対応して参りたいと考えます。

会

派

代

表

質

A

**市長** 現在、防犯活動や登下校時の見守り活動、少年補導や交通安全啓発活動などで、個人や団体の協力のもと、熱心に取り組んでいただいております。その結果、近年における犯罪認知件数や交通事故

日本共産党太宰府市議団

こうたけ あや  
神武 綾 議員

- ・第1のプラン「市民参画の行政、街づくりで地域創生」について
- ・第2のプラン「学問の神様にふさわしい教育、子育て」について
- ・第3のプラン「環境重視の逆転の発想で渋滞解消」について
- ・第4のプラン「民間の知恵を生かした高齢者福祉」について
- ・第5のプラン「環境重視の逆転の発想で渋滞解消」について
- ・第6のプラン「防衛省自衛隊と連携した市民の安全安心」について
- ・第7のプラン「防衛省自衛隊と連携した市民の安全安心」について
- ・総合計画「環境政策」について
- ・総合計画「人権政策」について

問

本市の教育環境の充実を

Q

施政方針「第2プラン」について2点伺う。

A

①学校施設の大規模改造を進めるとあるが、歴史の長い水城小学校、学業院中学校について、児童・生徒数増加が今後見込まれる中、移転、分校、建替えなどを早急に検討し進めるべきと考えるが、市長の見解について。

はじめ様々な課題を実感したところですが、水城小学校、学業院中学校につきましては、財政的制約などもありまして、慎重な上にもスピード感を持って進めてまいります。

②中学校給食について、市長は施政方針の中で、ゼロベースで検討し任期中に方向性を示すとしている。早急に進めていく必要があると考えますが、市長の見解を伺う。

②ゼロベースにつきましては、これまでの調査研究や経緯を全てゼロ、なしにする意味ではございません。また、様々な情報や経緯の継続性を保ちながら、予見・予断にとらわれることなく再度検討を始めるということですが、なるべく早い時期に一定の方向性を示し、より良い給食の実現に踏み出す事が出来るように全力を尽くしてまいります。

光 一 議員  
 みやはら けんいち  
 宮原 伸一

- ・第1のプラン「市民参画の行政、街づくりで地域創生」について
- ・第2のプラン「学問の神様にふさわしい教育、子育て」について
- ・第3のプラン「徹底した行革と超成長戦略で財政再建」について
- ・第4のプラン「積極的広域連携による大太宰府構想」について
- ・第5のプラン「環境重視の逆転の発想で渋滞解消」について
- ・第6のプラン「民間の知恵を生かした高齢者福祉」について
- ・第7のプラン「防衛省自衛隊と連携した市民の安全安心」について
- ・総合計画「環境政策」について
- ・総合計画「国際交流・友好都市交流の推進」について

問

市政運営経費の見直しで財政健全化を

Q

「市政運営経費の見直し」  
 に関して5点伺う。

- 代表 質 問
- ①行政改革による歳出削減の具体的な取組について
  - ②太宰府の底力を生かした自主財源の増加について
  - ③施設使用料の見直しについて
  - ④ふるさと納税の収入見込み額について
  - ⑤入札制度に関する本年度の試行内容について

A

市長 ①国や県の補助金を有効に活用して財源を確保しま

す。また、将来の負担を減らすためにも、市債の発行を極力抑え、財政の健全化

に努めます。

- ②太宰府の歴史、知名度、多くの観光資源や、郷土を愛する人材を「地域資源」と考え、本来の太宰府の底力を最大限に引き出し、自主財源の増加を図ります。
- ③公共施設を利用する際の受益と負担の公平性の観点から、市民の理解と納得が得られる合理的な料金設定になるよう、使用料の見直しを検討します。
- ④ふるさと納税の収入見込み額は、平成29年度の3倍増、1億2千万円としています。
- ⑤現在、現行の入札制度の検証を行っているところです。これから具体的な内容の検討に入り、試行を重ねて来年度の新制度導入を目指します。

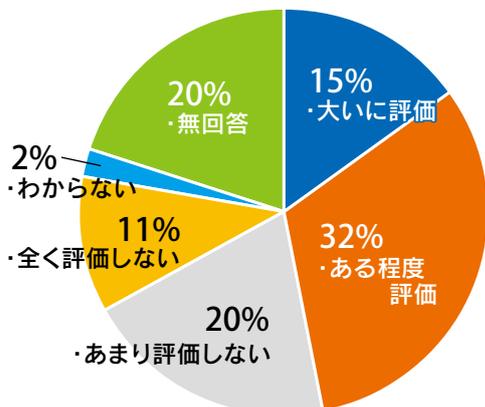
第4回 市議会意見交換会を開催しました

平成30年4月27日(金)、プラム・カルコア太宰府と とびうめアリーナの2会場で、市民と議会の意見交換会を開催しました。両会場合わせて200人のご参加をいただき、市民皆様が議会に寄せる関心と期待の高さを痛感し、議員一同身の引き締まる思いです。

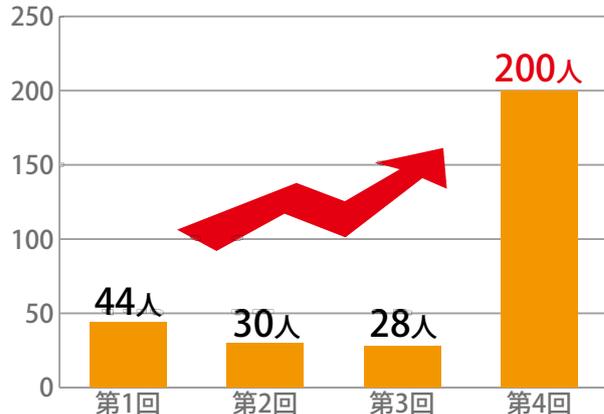
皆様からいただいた貴重なご意見を、今後の議会運営に生かすとともに、さらに開かれた議会を目指して努力してまいります。

市議会意見交換会アンケート（抜粋）

Q 意見交換会を評価しますか？



●意見交換会参加者の推移



※詳しくは太宰府市議会HPをご覧ください。

<http://www.city.dazaifu.lg.jp/admin/shisei/shigikai/ikenkoukankai/11978.html>